

2017年
11月15日

水曜日

《21面》

許諾番号30059569 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。
©日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。
日本経済新聞社は、記事内容により、特定の企業・団体や商品・サービスの購入・投資等を推奨するものではありません。

日本I R協議会は14日、2017年度のI R（投資家向け広報）優良企業14社を発表した。大賞にはコマツと塩野義製薬が選ばれた。「フェア・ディスクロージャー・ルールの導入を背景に、開示と対話のレベルを高める企業が目立った」（日本I R協議会の佐藤淑子専務理事）という。大賞の2社は経営トップが投資家との対話に前向きな点が評価された。コマツは10年以來2度目の大賞受

I R優良企業 大賞にコマツ・塩野義

「I R優良企業」の受賞企業
（※は初受賞）

I R優良企業大賞
コマツ、塩野義製薬
I R優良企業賞
※ダイキン工業、※大和ハウス工業、ナブテスコ、※野村総合研究所、ポーラ・オルビスホールディングス、丸井グループ、※三菱UFJフィナンシャル・グループ
I R優良企業特別賞
キリンホールディングス、ソニー、※不二製油グループ本社
I R優良企業奨励賞
※トラスコ中山、※リクルートホールディングス

投資家との対話に評価

賞。月次の建設機械の稼働状況データの公開など、公平な情報開示を意識する。塩野義製薬は対話を企業統治の改善や事業戦略に生かしている。環境や社会、企業統治への取り組みを評価する「E

SG投資」への対応も審査対象になった。優良企業賞の丸井グループはESG関連・統合報告書に関する説明会を開いている。優良企業奨励賞のトラスコ中山は社会貢献や女性活躍などの情報開示が充実している。I R優良企業賞はI Rに積極的で市場からの評価が高い企業を表彰する。22回目の今回は受賞した14社のうち7社が初受賞だった。優良企業特別賞のソニーは21年ぶりの受賞だった。